

令和2年度教育事業

「自然体験塾～シーカヤックから未来を見よう～」(R2.6.13(土)～14(日))

初級編 (R2.8.8(土)～9(日)1泊2日)

中級編 (R2.8.15(土)～16(日)1泊2日)

上級編 (R2.8.29(土)～30(日)1泊2日)



◆目的

- ・若狭湾の自然の中での生活を通して、心と体をリフレッシュする。
- ・若狭湾の自然の中で生きることを通して、自然の素晴らしさ、自然と人間とのかかわりを学ぶ。
- ・生活する上での様々な課題を解決することを通して、状況を受け入れる力を高める。
- ・仲間と関わり合いながら生活することを通して、自己を理解する力を高める。

◆参加実績

①参加

初級編 16人
中級編 14人 計 47名
上級編 17人

②年齢

小学5年生 30人
小学6年生 9人
中学1年生 5人
中学2年生 3人

②地域別

福井県 24人
京都府 12人
滋賀県 8人
愛知県 1人
岐阜県 1人
大阪府 1人

◆プログラム

(初級編)

- 1日目……13:30 開校式、大浜周辺にてシーカヤック&スノーケリング、自然の家で野外炊事体験
2日目……シーカヤック&スノーケリング(大浜・カタボコ浜)、ビーチコーミング(カタボコ浜)
16:20 閉校式

(中級編)

- 1日目……9:30 開校式、大浜周辺にてシーカヤック&スノーケリング、野外炊事体験、大浜にてテント泊体験
2日目……野外炊事、スノーケリング&シーカヤック(大浜・カタボコ浜)、ビーチコーミング(カタボコ浜) 16:20
閉校式

(上級編)

- 1日目……9:30 開校式、大浜周辺にてシーカヤック&スノーケリング、シーカヤックにて無人浜へカタボコ浜にて野外炊事、テント泊体験
2日目……野外炊事、スノーケリング&シーカヤック(大浜・カタボコ浜)、ビーチコーミング(カタボコ浜)
16:20 閉校式

◆成果

- ・満足と答えた家族が42人(91.3%)、やや満足と答えた家族が4人(8.7%)となり、事業としては目標が達成できた。
- ・アンケートから、この事業を知ったきっかけは、近隣の学校に配布したちらしが37%、次いでホームページやSNSが34%となり、ウェブでの広報が有効になってきていることがわかる。
- ・シーカヤックの指導者としてその道のプロである大瀬志郎氏を講師として招聘し、自然の中で暮らす基礎基本を学びながら過ごす中で、子どもたちは自然の偉大さを感じるとともに、自然との共存について考えることができた。
- ・若狭湾の豊かな自然の中で、子どもたちが「食べる」「遊ぶ」「寝る」「移動する」をスタッフのサポートを受けながらも自分たちの手で行えるようになった。

◆参加者の声

- 若狭湾の海はとてもきれいでした。魚もいっぱいいたし、水もきれいでした。も海にはいろいろな「もんだい」があります。ゴミなどで魚がたくさん死んでいるそうです。きれいな自然を守ることが大切だと思います。
- 日本はゴミを減らしたりできるかも。ウミガメ、魚などが食べると死ぬ。だから、少ない人から団体などでがんばりたい。
- プラスチックごみがとても流れついていて、「これはだめだ」と思った。
- 自然はとてもすばらしいことがわかって、人間の手で大事な自然を壊しているんだと気づきました。
- 海に入れる仕事をしたい。
- 自分の身や動物の安全を守るために、対策をしっかりとし、動物と共存できる環境を作ることが大切だと思った。
- 夜中に起きた時に、星がとてもきれいでした。めっちゃ星が出ていました。それが、何座かは分かりませんでした。
- 山の水は、きれいで透き通っていた。
- 冷たい海水が、日光に当たって暖かくなりました。そんな自然の力のすごさを感じました。普段の生活にも自然の力を生かして暮らしたいと思いました。
- いつも文明の世界で生きてきたけど、自然の中で暮らしても楽しいことはたくさんあるなと思いました。

◆事業運営のツボ・工夫・反省

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を以下に挙げる。
 - ・活動中は、随時アルコール消毒を実施、1日に2回検温を実施した。
 - ・炊事時間を短縮する措置としてご飯は食堂での炊き上げとした。
 - ・テント泊する人数を定員の1/2とした。
- SDGS 目標14を視野に入れたプログラムを取り入れ、海洋環境に目を向けると共に、若狭湾のロケーションから見て取れる、海と山の繋がり、若狭湾と琵琶湖の関係、人と自然との共存について考えることができた。
- テーマを決めて仲間と語り合う活動「語り場」を活動初日の夜に行った。自分の感じたこと、考えていることを仲間の前で語る活動は、「主体的・対話的で深い学び」につながると考えられると共に、自分を客観的に捉えることができると考えられる。
- 今回のテーマ「自然と自分」について、話し合ったり体験したりする中で、参加者にたくさんの気づきが見られた。
- 参加者にアンケートを記入してもらった時間は設けたが、参加者の考えや思いの変容が見られる成果物を残せると良かった。

◆事業運営費	合計	345,025円
指導支援費(講師費等)		241,740円
消耗品費		86,790円
印刷費		13,167円
通信費		3,328円

